

株 主 の 皆 様 へ

FUJI NIHON SEITO CORPORATION



第91期 中間報告書

2013年4月1日から2013年9月30日まで 証券コード：2114

 フジ日本精糖株式会社

企業理念

私たちは、「夢のあるたくましい会社」を目指し、健康な生活づくりに貢献します。

経営方針

- ① 顧客第一主義の徹底
- ② 社員が会社と共に成長し自己実現を目指す企業文化の形成
- ③ 社会に評価される企業価値の向上
- ④ 研究・開発の推進による新たな価値の創造
- ⑤ 公正で透明性のある企業活動の徹底
- ⑥ 地球に優しい環境経営の強化・拡大
- ⑦ 社会に貢献する企業市民活動の推進

CONTENTS

ごあいさつ	P 2
トップインタビュー	P 3
セグメント別の状況	P 5
連結財務諸表	P 7
会社の概況／株式の概況	P 9
トピックス	P10

● 表紙の写真について

表紙の写真は、当社「写真同好会」の辻田和人が撮影した作品です。



撮影地 静岡県 三保 「凍える海岸」

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第91期中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

日本経済は、アベノミクスによる景気好転への期待や2020年夏季のオリンピック、パラリンピックの開催地決定からくる経済効果の期待などから、先行き明るい兆しが出てきております。

しかしながら、砂糖業界では、依然として少子高齢化、安価な加糖調製品の輸入増、高甘味人口甘味料の増加などによる国内砂糖の消費減少の厳しい状況が続いております。加えてTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）の成り行き如何では、さらに厳しい経営環境となるものと思われま

す。そうしたなか当社グループ全体としては、増収・減益となりました。

主力の精糖事業は、前年同期比で販売数量自体は伸びたものの販売単価の下落、製造コストの上昇などで、増収・減益となりました。

機能性素材事業では、子会社ユニテックフーズ株式会社が好調に推移し増収となりましたが、Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.への先行費用の計上などにより若干の減益となりました。

当社は特許を保有して、国内生産、販売を続けている水溶性食物繊維フジFF（イヌリン）の生産基地を日本からタイに移すことを決定し、現在工場建設中ですが、この12月末には完成予定で、来年は日本はもとよりアジアの国々への販売を予定しております。当社は引き続き事業環境



代表取締役社長 船越 義和

の変化に対応していくため昨年度より「営業力の強化」「事業の多角化」「海外展開の推進」の三つに「人材育成」を加えた四つを重点目標として経営を進め、総合的競争力を高めていく所存です。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2013年12月

事業環境の変化に的確に対応し、持続的な企業成長を実現してまいります。

Q 当上半期の営業状況についてお聞かせください。

A 精糖事業、機能性素材事業ともに増収減益となりました。

当上半期の連結業績は増収減益となりましたが、期初の予想数値を超える成果を上げました。

精糖事業は、「営業力の強化」を当期の課題に掲げ、特約店の先のユーザー様訪問や業界動向レポートの作成・配布、顧客満足度調査の実施など、お客様との関係強化を図っています。その結果、当上半期はユーザー様の好調な荷動きを捉えることができ、販売数量の増加による増収を確保しました。しかし、販売単価の下落とエネルギーコストの上昇が利益を圧迫し、減益を余儀なくされました。

機能性素材事業は、子会社のユニテックフーズ株式会社がゼラチン・ペクチン類の販売数量を伸ばし、増収となりましたが、タイにおけるイヌリン工場の建設に係わる先行費用の計上などにより、若干の減益となりました。

Q 営業戦略室による事業構造改革への取り組みをご説明願います。

A イヌリンの国内外における販売拡大に注力しています。

今年4月に新設した営業戦略室は、海外展開や新規事業な

どの成長施策や営業強化を推進しています。

その最優先課題が、2014年1月に稼働予定のタイ工場（Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.）が生産するイヌリンの国内外販売の拡大です。まず、国内では大手食品メーカー等に向けてイヌリンの採用を促進すべく営業体制を強化し、販売の拡大を狙います。一方、海外では今年6月にタイに設立した子会社であるFUJI NIHON (Thailand) Co.,Ltd. (以下FNT) を活用し、東南アジア各国に販売するための体制構築を行っているところです。その際、各国の味覚に合わせたイヌリンのアプリケーション開発も必要になるだろうと考えています。また、FNTではイヌリンのみならず、他の機能性素材についてもアジア市場で販売展開を予定しています。

この他、イヌリンのタイ生産移行に伴い稼働余力が出てくる清水工場の生産設備を活用した新規事業の立ち上げや、新規機能性糖質による健康をキーワードとした製品開発なども進めていきます。

Q 今後予想される事業環境の変化について、どのようにお考えですか？

A TPP参加条件の行方を注視し、的確に対応していきます。

当社事業を取り巻く環境変化としては、まず来年4月に実施される消費増税の影響が考えられます。これについては、砂糖の販売価格との兼ね合いの中で、3月に多少の仮需が発

生し、4月に落ち込むことが予想されますが、前回の増税時にも大きな影響がなかったことから、今回についてもその影響は軽微にとどまるものと見ています。

もう一つの環境変化として、我が国のTPP（環太平洋戦略的経済連携協定）参加による影響が懸念されています。これまでTPP参加条件において砂糖（甘味資源作物）は、関税維持とされてきましたが、現在交渉内容が開示されておらず、進展を注視しているところです。TPP参加条件の正式決定により、国内精製糖業界が大きな影響を受けることは免れません。当社では、あらゆる場面を想定して今後の動きに備え、的確に対応してまいります。

Q 下半期の展開と通期見通しについてお聞かせください。

A 期初の通期業績予想を変更せず、増収減益の見通しです。

下半期の営業状況は、今のところ概ね計画通りに推移するものと見ています。従いまして、通期の連結業績については期初の予想数値を変更せず、売上高200億円（前年同期比1.2%増）、営業利益9億5千万円（同4.5%減）、経常利益10億5千万円（同8.2%減）、当期純利益6億5千万円（同9.3%減）を見込んでいます。

当社は、引き続き事業環境の変化に対応していくための構

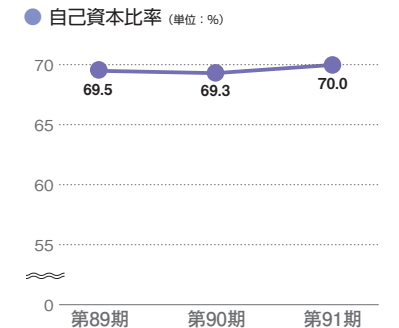
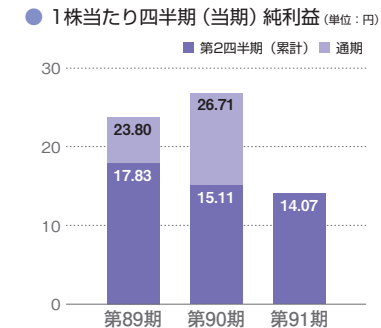
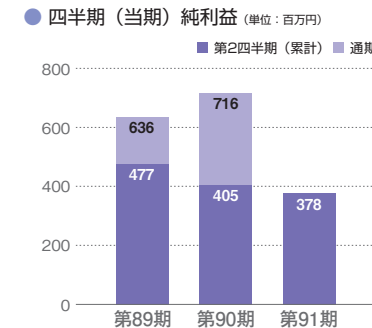
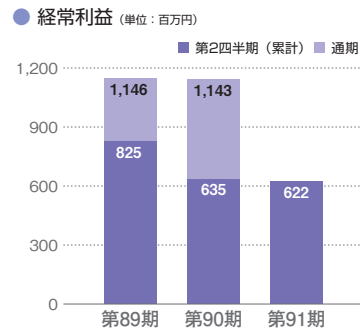
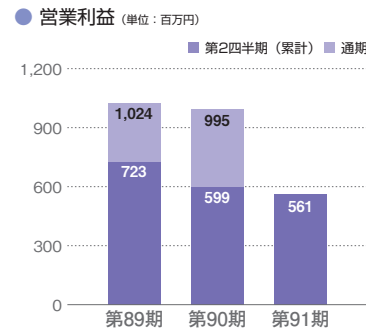
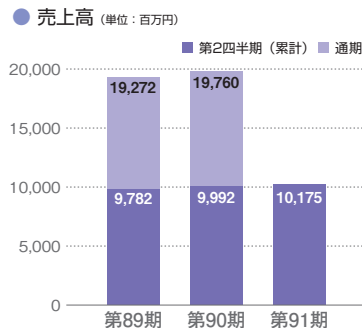


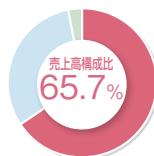
代表取締役社長 舩越 義和

造改革を推進し、持続的な企業成長を実現していくことで、株主の皆様のご期待に応えてまいります。

連結業績ハイライト

CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHTS





精糖事業

事業内容：精製糖、砂糖関連製品の製造販売を行っております。

当上半期の概況

売上高：6,687百万円
営業利益：607百万円

精糖事業につきましては、海外原糖市況は期初ニューヨーク先物市場17.69セント（1ポンド当たり）で始まりましたが、ブラジル・インド・タイ国での順調な生産が続き供給過剰感から値を下げ最安値15.93セントを付けました。その後、暫く低調な相場が続きましたが、9月中頃になるとブラジルで降雨によるキビの収穫遅れが報じられ投機筋の買いから相場は上昇に転じ17.48セントにて当上半期末を迎えました。

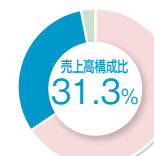
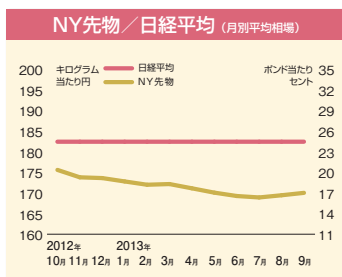
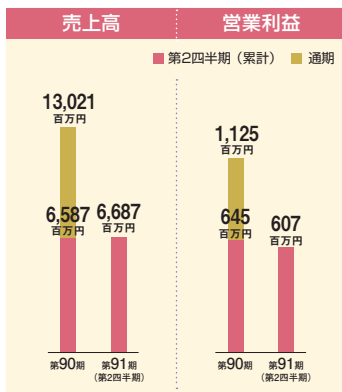
ニューヨーク市場先物相場（セント/ポンド当たり）の動き

期初	高値	安値	期末	平均
17.69	18.15	15.93	17.48	16.92

一方、国内製品市況は期初東京現物相場183円（上白大袋1キログラム当たり）で始まりましたが海外原糖相場が小幅な変動に留まったことから、そのまま183円で当上半期末を迎えました。

製品の荷動きについては菓子類向けやパン類向けが好調に推移したこと、夏場の猛暑により清涼飲料向けも増え、液糖、グラニュー糖が中心となり前年同期を上回る販売数量となりました。

この結果、売上高は6,687百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益607百万円（同6.0%減）と増収・減益となりました。



機能性素材事業

事業内容：機能性食品素材、食品添加物、切花活力剤等の製造販売、果実加工原料の販売を行っております。

当上半期の概況

売上高：3,188百万円
営業利益：43百万円

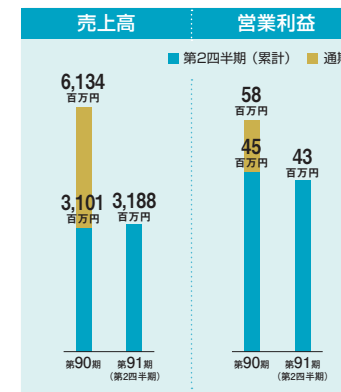
機能性素材事業につきましては、機能性食品部門で引き続きイヌリンの脂肪代替機能を活かした販売活動に注力いたしましたが、円安に伴う各種食品原料の価格上昇傾向を反映して顧客のコスト抑制志向が強まったことにより、売上高は前年同期比21.5%減の厳しい結果となりました。一方、2012年6月にタイ国に設立したイヌリン製造合弁会社Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.は、2013年11月の稼働に向けて建設工事をすすめております。

また、2013年6月には、東南アジア地域を含めた営業展開の拠点としてバンコクに販売子会社を設立いたしました。

食品添加物部門におきましては、グループ会社のユニテックフーズ株式会社との協業は、順調に推移したものの、大口顧客からの受託が振るわず売上高はほぼ前年同期並みとなりました。

切花活力剤部門におきましても、新製品として業務用水揚剤を発売するなど販売拡大に努めましたが、今夏の気温の影響もあり花卉類の需要が依然低迷傾向にあることから売上高は前年同期比3.6%減に留まりました。

これらの結果、機能性素材事業の売上高は3,188百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益43百万円（同3.9%減）となりました。



不動産事業

事業内容：当社が所有する土地建物の賃貸およびその他不動産関連事業を行っております。

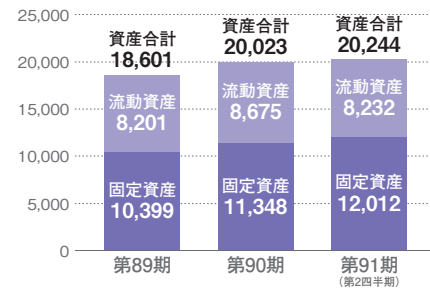
当上半期の概況

売上高：300百万円
営業利益：259百万円

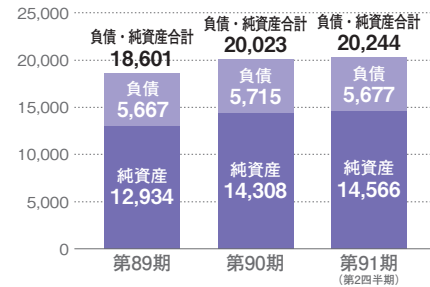
不動産事業につきましては、小規模賃貸住宅の稼働率が低下したことにより、前年同期比で若干ながら減収減益となりましたが、安定収益に貢献いたしました。

この結果、売上高は300百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益259百万円（同1.0%減）と減収減益となりました。

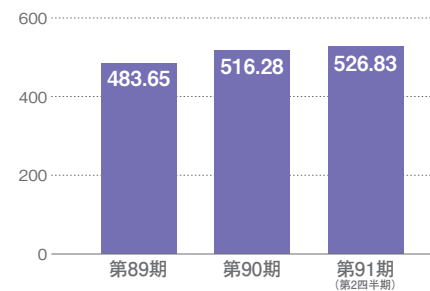
▶ 総資産 (単位: 百万円)



▶ 純資産 (単位: 百万円)



▶ 1株当たり純資産 (単位: 円)



連結貸借対照表(要旨)

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期 2013年9月30日現在	前期 2013年3月31日現在
資産の部		
流動資産	8,232	8,675
固定資産	12,012	11,348
有形固定資産	4,127	3,612
無形固定資産	838	890
投資その他の資産	7,045	6,845
▶ 資産合計	20,244	20,023
負債の部		
流動負債	3,307	3,717
固定負債	2,369	1,997
負債合計	5,677	5,715
純資産の部		
株主資本	13,148	13,039
資本金	1,524	1,524
資本剰余金	2,530	2,530
利益剰余金	9,800	9,691
自己株式	△ 706	△ 706
その他の包括利益累計額	1,014	840
少数株主持分	403	428
▶ 純資産合計	14,566	14,308
負債・純資産合計	20,244	20,023

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科目	当第2四半期(累計) 2013年4月 1日から 2013年9月30日まで	前第2四半期(累計) 2012年 4月 1日から 2012年 9月30日まで
売上高	10,175	9,992
売上原価	7,932	7,746
売上総利益	2,242	2,245
販売費及び一般管理費	1,680	1,646
営業利益	561	599
営業外収益	77	62
営業外費用	16	27
経常利益	622	635
特別利益	11	—
特別損失	0	11
税金等調整前 四半期純利益	634	623
法人税、 住民税及び事業税	257	211
法人税等調整額	11	11
少数株主損益調整前 四半期純利益	365	400
少数株主損失(△)	△ 13	△ 4
四半期純利益	378	405

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位: 百万円)

科目	当第2四半期(累計) 2013年4月 1日から 2013年9月30日まで	前第2四半期(累計) 2012年 4月 1日から 2012年 9月30日まで
▶ 営業活動による キャッシュ・フロー	689	921
▶ 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 532	△ 295
▶ 財務活動による キャッシュ・フロー	△ 32	△ 56
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 4	1
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	119	571
現金及び現金同等物の 期首残高	2,611	1,878
現金及び現金同等物の 四半期末残高	2,731	2,449

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フローについて

▶ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上、売上債権の減少等により689百万円の収入となりました。

▶ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得、長期貸付金の支出等により532百万円の支出となりました。

▶ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済、配当金の支払等により32百万円の支出となりました。

会社の概況

(2013年9月30日現在)

COMPANY INFORMATION

会社概要

商号	フジ日本精糖株式会社
英文名	Fuji Nihon Seito Corporation
設立	1949年(昭和24年)7月
資本金	1,524百万円
従業員数	64名
本社所在地	〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号 電話 03(3667)7811(代表)
清水工場	〒424-0924 静岡県静岡市清水区清開一丁目4番10号 電話 054(334)5353(代表)
横浜共同生産工場	太平洋製糖株式会社 〒230-0053 神奈川県横浜市鶴見区大黒町13番46号 電話 045(501)0511(代表)
子会社	協立食品株式会社 ユニテックフーズ株式会社 Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd. FUJI NIHON (Thailand) Co.,Ltd.
関連会社	太平洋製糖株式会社 マ・マーマカロニ株式会社 南栄糖業株式会社 Unitec Is Co.,Ltd.

役員

代表取締役会長	江口 達夫
代表取締役社長	船越 義和
取締役常務執行役員	高梨 繁憲
取締役常務執行役員	渡辺 修司
取締役相談役	佐藤 伸郎
取締役	武田 浩文
取締役	村上 光廣
常勤監査役	高橋 宏寿
監査役	上平 徹
監査役	加藤 茂治
監査役	内藤 健雄

執行役員

常務執行役員	佐塚 眞弘
執行役員	櫻田 礎久
執行役員	福田 弘
執行役員	梶原 久雄
執行役員	山崎 伸夫
執行役員	小島 康克
執行役員	大口 真央
執行役員	櫻田 誠司

監査法人

会計監査人 有限責任監査法人トーマツ

株式の概況

(2013年9月30日現在)

STOCK INFORMATION

株式の状況

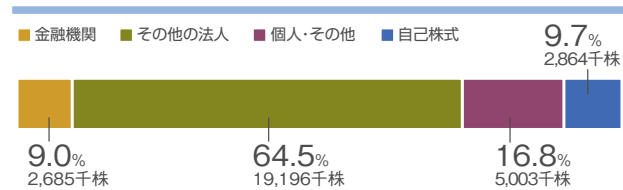
発行可能株式総数	110,000,000株
発行済株式の総数	29,748,200株
株主総数	3,550名

大株主

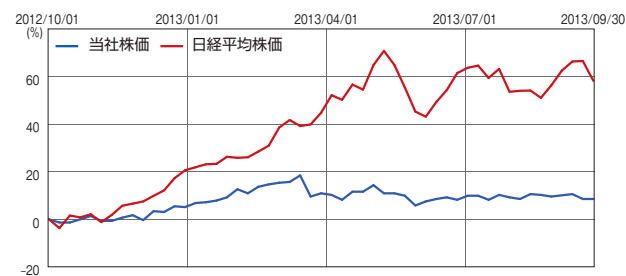
株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
双日(株)	8,153	30.3
豊田通商(株)	2,459	9.1
鈴与(株)	1,402	5.2
和田製糖(株)	1,226	4.6
野村信託銀行(株)(信託口)	933	3.5
(株)静岡銀行	792	2.9
(株)榎本武平商店	558	2.1
新潟県砂糖卸荷受商業協同組合	500	1.9
東京海上日動火災保険(株)	447	1.7
小倉運輸(有)	440	1.6

(注) 出資比率は自己株式(2,864千株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



比較チャート (2012年10月1日を基準日とした当社株価と日経平均株価の騰落率)



トピックス

TOPICS

タイの製造拠点が稼働間近

当社のさらなる成長戦略として、海外での事業展開に積極的に取り組んでいます。

イヌリン生産の合併会社 Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd. (以下、FTI) では、タイの首都バンコクから西へ90km離れた場所に新工場を建設、2014年1月からの本格稼働に向けて順調に進んでいます。



稼働間近のFTI新工場

また、本年6月に設立したFUJI NIHON (Thailand) Co.,Ltd. (以下、FNT) は、FTIで生産する「イヌリン」をグローバル市場、特に東南アジア地域に販売していくことになります。そのため、その前線基地であるタイのバンコクに拠点を置くことにしました。FNTはイヌリンの販売だけでなく、各種食品素材の取扱い、当社砂糖事業とのシナジーが見込まれるビジネスなどにも取り組んでいこうと考えています。

概要

Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd. (略称: FTI)

所在地	タイ国バンコク都(本社) タイ国ラチャブリ県(工場)
事業内容	機能性食品素材「イヌリン」の製造販売
設立年月	2012年6月

FUJI NIHON (Thailand) Co., Ltd. (略称: FNT)

所在地	タイ国バンコク都(本社)
事業内容	当社グループが扱う機能性食品等の販路開拓や新規商材の発掘および海外情報全般の収集
設立年月	2013年6月

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場取引所	東京証券取引所
公告方法	当社のホームページに掲載いたします。 公告掲載URL http://www.fnsugar.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

【お知らせ】

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



株主優待制度のご案内

3月31日現在、当社株式1単元（1,000株）以上ご所有の株主の皆様へ、3,000円相当の当社商品詰合せを7月に贈呈いたします。



※株主優待品の一例。

ホームページのご案内

当社ホームページでは、IR情報や商品情報など様々な情報をご覧いただけます。また、ネットショッピングもお楽しみいただけます。



フジ日本精糖

検索

<http://www.fnsugar.co.jp/>